

「総合的な探究の時間」学習指導案

令和3年10月 第1学年 指導者 平山 保

1 題材名 「自分たちの学校の魅力を客観的に分析しよう」

2 学習指導要領上の位置付け

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 (知識及び技能)
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (思考力、判断力、表現力等)
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。 (学びに向かう力、人間性等)

3 目標

近隣の高校と比較した自校の特徴を明確にするための授業を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア. 近隣の高校と自校の情報を整理・分析しそれぞれの特徴を客観的に理解することができる。 (知識及び技能)

イ. 分析した結果を基に、自校の特徴が好意的に捉えられるように伝える方法を提案することができる。 (思考力、判断力、表現力等)

ウ. よりよい学校づくりに向けた活動に対して、主体的・協働的に取り組むことができる。 (学びに向かう力、人間性等)

4 指導計画 ※別紙参照

5 本時の展開（2 / 3）

(1) ねらい

近隣の高校と自校の特徴を比較したり、分類したりする活動を通して、情報を整理・分析する能力を身に付けさせる。その際、生徒は事前に収集した情報を基に、ICT 端末を利用して共有化したクラウド型の文書作成ソフトのデジタルワークシートに記入しながらグループ協議を行う（10 人×4 班）。共有ファイルへの自由な書き込みによって個々の意見を反映させやすくさせ、活発な意見交換を促す。

(2) 展開

<p>学習活動 ・予想される生徒の反応</p>	<p>時間</p>	<p>○指導上の留意点 ◎研究上の手立て 評価項目<方法（観点）> 〔記〕記録に残す評価</p>
<p>1 本日の学習内容の確認を行う。 ・前回何をやっただろうか。 ・うまく進められるだろうか。</p>	<p>10分</p>	<p>○市内の高校の特徴を整理して自校について客観的に理解し、そのことを外部の人が好意的に捉えられるように伝えるための手段や方策を考える授業であることを伝える。 ○前時の活動「デジタルホワイトボードを使用して分野別グループで情報共有」の内容を確認させる。 ○最初にグループ内での役割分担を決め、活動を進める上での注意点を確認させる。</p>
<p>2 各学校の特徴を整理・分析する。 展開1：情報の整理・分析1 (デジタルホワイトボード) ・並べてみると違いが見えてきた。 ・大きな違いがないものもあるな。 展開2：情報の整理・分析2 (文書作成ソフト) ・整理することで各校の違いを把握しやすくなった。 ・調べる範囲を市内の高校にも広げ、有益な情報を手に入れたい。 ・意見を伝えるときには ICT 端末のタブレットモードが便利だ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">〔めあて〕近隣の高校と比較することで自校の特徴を整理・分析して、自校の特徴を好意的に捉えられるように伝えるための方法を考えよう。</p>	<p>20分</p>	<p>◎テーマに沿った視点を定めて学校間の違いを説明できるようにする。情報を比較して精査し、取り上げるのに適した内容とわかりやすく伝える方法を考えさせる。 ◎話し合いを進める上では、ICT 端末を用いての情報収集を促す。それらを基に、どのような方法で外部に伝えるか。他に必要な情報は何かを考えさせる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・ペアやグループで協力して情報を整理・分析することができる <文書作成ソフト（知・技）></p> <p>○スクリーンを用意して、話し合いが進んでいるグループの共有ファイルへの記入状況を紹介できるようにしておく。</p>
<p>3 意見を全体で共有する。 ・別グループの発表の中にも自分たちのテーマに活かせるものがあつた。</p>	<p>10分</p>	<p>○各グループから主な意見を発表させる。 ○他者の意見を聞く姿勢を作らせる。</p>
<p>4 振り返り ・よい話し合いができたと思う。 ・もう少し積極的に発言ができればよかった。</p>	<p>10分</p>	<p>◎アンケート作成ソフトを利用し、目標にしていた力が身に付いたかどうかの自己評価を行わせる。 ○次回以降の活動に向けて、各自で取り組むべきテーマを更に深く考えるように促す。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・授業を振り返り、自身のことを適切に評価できる。 <アンケート作成ソフト（思・判・表）>〔記〕</p>

6 板書計画

総合的な探究の時間 10/26

今日のめあて

近隣の高校比較 ⇒

- ①自校の特徴を明確にする
- ②好意的に捉えてもらうように伝える

情報の整理分析 & 協働的な学習

進行方法の確認

グループワーク
10人=
2人×5テーマ

☆ 役割決め ☆

司会：発言を促す
記録：優先的に操作
発表：協議内容の紹介

協議のテーマは？

特徴が出やすい分野を決めよう！

○○○○について

特徴を比較する

2人1組で話し合いに参加する

一人目：前回までのワークシート
各高校のホームページ等

二人目：今回のワークシート

今後に向けて

自分たちの学校で何ができる？

- ①伝えたいこと
- ②効果的なPR方法

指導計画 総合的な探究の時間 第1学年 題材名「自分たちの学校の魅力を伝えよう」(全3時間計画)

目標	<p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>ア 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。(知識及び技能)</p> <p>イ 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。(思考力、判断力、表現力等)</p> <p>ウ 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)</p>		
評価規準	<p>(1) 必要な情報を収集して、自校および市内の高校の特徴を整理することができる。(知識・技能)</p> <p>(2) 課題の解決に向けて、分析した結果を基に解決策を提案することができる。(思考・判断・表現)</p> <p>(3) よりよい学校づくりに向けて、探究活動に主体的・協働的に取り組むことができる。(主体的に学びに取り組む態度)</p>		
過程	時間	<p>○ねらい めあて</p>	<p>・振り返り(意識)</p> <p>評価項目 〈方法(観点)〉 〔記〕記録に残す評価</p>
つかむ	1	<p>○近隣の高校の情報収集・整理</p> <p>・自校の特徴を考える前段階として、近隣の高校の特徴を、デジタルホワイトボードを使用して分野別グループで整理して情報共有させる。</p> <p>自分たちの学校の特徴を客観的に説明するために、近隣の学校の特徴をまとめよう。</p>	<p>・手段を考えながら情報収集をすることができた。</p> <p>・自分で調べた学校以外の高校や自校のことも詳しく知りたくなった。</p> <p>・整理することで比較しやすくなりそれぞれの特徴が明確になった。</p> <p>・必要な情報を適切な方法で収集して整理している。 〈デジタルホワイトボード〉 (知・技) ></p>
追究する	1 本時	<p>○各学校の特徴を整理・分析</p> <p>・デジタルホワイトボードを使用して情報の分類し、学校間比較をすることによって各校の特徴を明確にする。</p> <p>・文書作成ソフトを使用して情報を整理することによって、他校と比較した際の自校の特徴を明確にさせる。</p> <p>・分析結果から導かれる自校の魅力をどのように伝えたらよいか話し合う。</p> <p>近隣の高校と比較することで自校の特徴を整理・分析して、自校の特徴を好意的に捉えられるように伝えるための方法を考えよう。</p>	<p>・意外な共通点や相違点があることに気付く。</p> <p>・集められた情報をグループで協働的に整理・分析することで、自校に対する理解を深めることができた。</p> <p>・自校の魅力とそれを発信する手段について考えることができた。</p> <p>・ペアやグループで協力して情報を整理・分析することができる。 〈デジタルホワイトボード 文書作成ソフト〉 (知・技) ></p> <p>・授業を振り返り、自身のことを適切に評価できる。 〈学習支援ソフト〉 (思・判・表) > 〔記〕</p>
まとめ	1	<p>○まとめと今後の活動</p> <p>・これまでグループやクラスで共有してきた情報を基に、今後取り組むテーマの設定、活動の計画を立てることができる。</p> <p>整理・分析した結果を基に、今後取り組むテーマを設定して、活動の計画を立てよう。</p>	<p>・これまでの整理・分析結果から自校の魅力を効果的に伝える方法について改めて考え、新たな課題を設定することができた。</p> <p>・これまでの分析結果を基に、新たな課題を設定することができる。 〈アンケート作成ソフト〉 (思・判・表) ></p>